



センター分析会

- 2～3 生物 筋肉・ビデオ
決してボディビルダーは登場しません
 - 4 英表 暗記・コンテスト
銀メダリスト俺
 - 5 日本史 鎌倉
3代将軍カワイソス
 - 6 コミュ英 ローレン
TVCM作るのって難しい
もはや数学
 - 7 ことゥん 敬語
敬語に対する見方が変わった
- 今週もおつかれさまでした！よければ一杯行きませんか？

*

先週は土・日にセンター試験があって、今週はその自己採点から始まったこともあり、3年生にとってはいろいろと大変な一週間であったが、あと2年後には、君たちも同じ境遇におかれることになる。1年生の今のこの時期からはとても信じられないかも知れないが、時間は確実に過ぎていくのである…。

さて、その3年生は金曜日に星陵会館で行われたセンター試験結果分析会に臨んだ。私もたまたま授業がない時間帯だったので覗きに行ってみた。前日、首都圏の学校の先生方（300名くらい？）が集まって分析の会議が開かれたのだが、その会で伝えられた情報を日比谷生向けにセレクトして、つまり、東大や東工大、一橋、医学部といった大学の状況に焦点を当てながら、ベネッセの首都圏地域を担当する責任者の方がわざわざやってきて解説して下さるといふ、他校では考えられないような超豪華な？会である。

その分析結果だが、国語は最新のデータリ

サーチだと、全国的に22、4点も平均点が下がる予想になっている。日比谷生の平均点も19点ほど昨年に比べて下がっているのだから、全体として見ると、文系は平均点が9点ほど上昇し、理系は2点くらい低くなる見込みとのことである。

その結果、日比谷生が受験するようないわゆる難関大学では、理系は昨年並みの難易度で推移しそうだとのことだが、文系は強気で出願する受験生が増えることが予想されて、一般的に難化する可能性が高いという。つまり、今年は文系の諸君にとっては厳しい戦いが待っていることになるらしい。

*

会の最後に、3学年の学年主任の先生がおっしゃっていたが、例えば「この大学は志願者が減少している」といった情報は、他校の生徒でも調べればすぐ分かる。だから、弱気になった人が分析結果に従ってその大学に出願したら、実は志願者が増えていたというようなことは充分にあり得るわけだ。

つまり、データを参考にするのはいいが、それに捕らわれ過ぎていけないのである。大切なのは、「あくまでもこの大学を目指す！」という自分の強い「意志」であり、その実現に向けて最後まで努力を続ける強い「気持ち」なのである。

私もその通りだと思う。日比谷生はこれからの一ヶ月でさらに実力がアップする。データを見てあれこれ悩んでいる時間があつたら、問題集と必死に格闘している方がよっぽど生産的だ。そのことを心に留めておこう。